

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 27	提案機関名 セレサ川崎農業協同組合
要望問題名 作型見直しも含む新たな露地切花品目の検索について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 川崎市内では、露地切花のコギク、ヒマワリ、カンパニュラなどを主として市場出荷し、一部を大型直売所で販売している状況です。 作柄は安定しているものの、販売価格は10年来低値安定で推移しているなかで、生産者数の低迷、生産量の減少も見られます。 都市農業においても花き生産を振興し、後継者が意欲的、安定的に花きを継続していくために、作型見直しを含め、新たな露地切花品目の検索をお願いしたい。 (例) 作型見直し ルリタマアザミの作型分散による促成及び抑制栽培 (例) 新品目の検索 ラナンキュラスの新品種（地域及び規模 宮崎区及び麻生区 360a）	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考 農業技術センター横浜川崎地区事務所にも要望中です。	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) I-2(4) 花き・観賞樹の高品質・安定生産技術の開発 ア 花き直売所などへの出荷に適した花きの検索と栽培技術の開発			
対応の内容等 昨年提案されたカンパニュラに代わる初夏出荷露地切花の品目検索の要望を受け、上記に記載した課題の中で取り組んでおります。いただいた要望についても当該課題の中で対応を検討します。まずは品目の検索を行い、有望と思われる品目について栽培方法の検討を行います。 ご提案いただきましたルリタマアザミは宿根性で栽培期間が複数年にわたるため、促成・抑制栽培を検討するには施設等を活用すること、ラナンキュラスの切り花は施設栽培が適切であると思われます。試験の実施にあたっては、パイプハウス等の設備投資に関する意向把握を十分行ってから課題化を検討しますので、情報提供にご協力をお願いいたします。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			